

## 5.2 環境保全措置の検討

## 5.2.1 通水工法の概要

通水工法とは、地下に構造物を構築する際に行う工法である。上流側で地下水を集め（集水）、構造物との交差区間をパイプなどで通過（通水）、下流側で地盤に還元（涵養）することで、地下水流動環境の変化を防ぐことができる。通水工法のイメージを図 5.2-1 に示す。

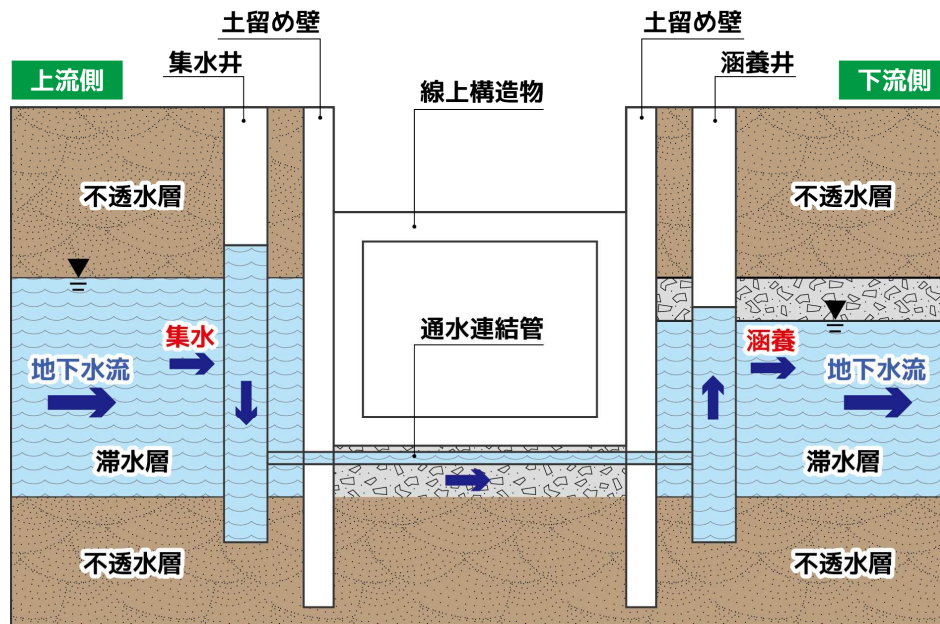


図 5.2-1 通水工法のイメージ